

愛知県ミニ・ラグビー ルールの概要

rev2. 2019/6/16

学年	低学年（幼児、小1・2年） <b>タグラグビー</b>	中学年（小3・4年）	高学年（小5・6年）
競技場の広さ	縦20m×幅14m以内	縦60m×幅35m以内	縦70m×幅40m以内
競技人数とポジション	<p><b>5人制</b> 4回目のタグで攻守が交代する</p>	<p><b>7人制</b> フォワード3人、ハーフ1人、バック3人</p>	<p><b>9人制</b> フォワード3人、ハーフ1人、バック5人</p>
試合時間	10分ハーフ以内	15分ハーフ以内	20分ハーフ以内
使用ボール	3号ボールを使用する	3号あるいは4号ボールを使用する	4号ボールを使用する
レフリー タッチジャッジ	タグラグビーの講習会参加を推奨する	レフリーはC級レフリーの資格取得を推奨する。 タッチジャッジは競技チームより出す。	
キックオフ	フリーパスから開始	ドロップキックまたはプレースキックで5mラインに達すること	ドロップキックで5mラインに達すること
トライ後のキックオフ	トライされた側のフリーパスから開始	トライした側のドロップキックまたはプレースキックで再開する	トライした側のドロップキックで再開する
ゴールキック	なし	正面よりゴールキックを行う	15人制ルールに準ずる
ドロップアウト	なし	ゴールラインから10m地点後方からドロップキック	ゴールラインから15m地点後方からドロップキック
5mスクラム	なし	15人制ルールに準ずる	
ノックオン スローフォワード	大会の競技規則に準ずる	15人制ルールに準ずる	15人制ルールに準ずる
スクラム	なし	3対3で形成。 ボールの投入は行わず、フッカーの足元よりヒールアウト。 オフサイドの解消は、ハーフがパスをした時点から。	3対3で形成。 ハーフがボールを投入し、フッカーの足元よりヒールアウト。 オフサイドの解消は、ハーフがボールに触れた時点から。
モール、ラック	なし	15人制ルールに準ずる	
キック	禁止する。 攻撃権は相手側に移る。	手に所持したボールのキックは認める。 ドリブルは可。フライキックは禁止。 ゴールラインから10m外のダイレクトタッチはキック地点でスクラム。	手に所持したボールのキックは認める。 ドリブルは可。フライキックは禁止。 ゴールラインから10m外のダイレクトタッチはキック地点でスクラム。
競技人数とポジション	<p>ボールがタッチラインを横切った地点で、ラインの外からのフリーパスで開始する。</p>	<p>ラインアウトの形成は2人。 ボールの取り合いは行わない。 バックスはラインオブタッチから5m後方へ下がる。ボールはかならずハーフへ。</p>	<p>ラインアウトの形成は2人。 バックスはラインオブタッチから5m後方へ下がる。</p>
スクラムでのBKのオフサイドライン	タグラグビールールに準ずる	防御側はスクラムの最後尾のかかとの線から3m後方。 攻撃側は味方の最後尾のかかとの線。	
スクラムでのSHのオフサイドライン	フリーパスを受けるプレーヤーは2m以内に近寄る	防御側はスクラムの最後尾のかかとの線から後方で1m以内に留まる。 攻撃側は味方の最後尾のかかとの線。	
モール、ラックのオフサイドライン	なし	15人制ルールに準ずる	
一般の反則	タグラグビールールに準ずる	15人制ルールに準ずる	
ファールプレー	タグラグビールールに準ずる	相手をバインドせずに振り回す、突き倒す、タッチラインに突き出す。 フェンドオブプレー、キャブल्लीーチャージ、ハイタックルはペナルティを科す。	
ペナルティキックとフリーキック	タグラグビールールに準ずる	反則の地点からタップキックでプレーを開始する。 反則側は反則の地点から5m下がる。	
補足事項	コーチは自チームの後方に入ることは許され、建設的な指導は可能。	ラインアウトでのサポートプレーは禁止する。	
申し合わせ事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. タップキックは地面に置いたボールを明確にキックすること。</li> <li>2. スクラムからのFWのボール持ち出しは禁止する。</li> <li>3. 一般のオフサイドは前方のポイントを選択する。</li> <li>4. レフリーは、建設的でない、試合の進行に妨げになる言動のコーチを競技場から退場させることができる。</li> </ol>		